第20回浜松オンコロジーフォーラム 2017.4.15

乳腺病理の着実な進歩-これからの課題 乳癌不均質性に関する考察

> がん研究会有明病院 病理部 堀井理絵



# 癌の不均質性 Cancer heterogeneity

腫瘍間不均質性 intertumor heterogeneity

腫瘍内不均質性 intratumor heterogeneity

Martelotto LG, et al. Breast Cancer Research. 2014;16:R48 Zardavas D, et al. Nat Rev Clin Oncol. 2015;12(7):381-94.

# 癌の不均質性

Cancer heterogeneity

腫瘍間不均質性 intertumor heterogeneity 腫瘍ごとに/症例ごとに腫瘍の 組織像・治療感受性・予後などが異なること

例) 乳癌の組織型分類/異型度分類 遺伝子発現プロファイリングに基づくintrinsic subtype

> 免疫組織化学法とin situ hybridizationを用いた 代替的intrinsic subtype

# 癌の不均質性

Cancer heterogeneity

腫瘍内不均質性 intratumor heterogeneity

空間的 spatial

同一腫瘍内に性質が異なる癌細胞が存 在すること

例) 浸潤性乳癌 紡錘細胞癌 バイオマーカーのカットオフ

時間的 temporal

同一症例の原発巣と転移巣が異なる性

質を示すこと

## 癌の不均質性

Cancer heterogeneity

腫瘍内不均質性 intratumor heterogeneity 空間的な腫瘍内不均質性と時間的な腫瘍内不均質性と時間的な腫瘍内不均質性は密接に関連している

例) 乳癌原発巣は腫瘍径が大きいほど、空間的な 不均質性を示す割合が高い

原発巣に空間的な不均質性が見られる症例では、原発巣と転移巣で異なる性質を示す(時間的な不均質性)可能性が高い

#### 空間的な腫瘍内不均質性の分類

Hanna WM, et al. Mod Pathol. 2014;27:4-18 Nitta H, et al. Pathol Int. 2016;66:313-24

不均質な項目 組織形態 遺伝子発現

バイオマーカー発現: ER, PgR, HER2 etc.

・ 異なる性質を持つ細胞の分布



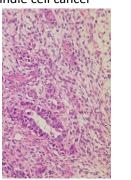
領域性 regional/clustered

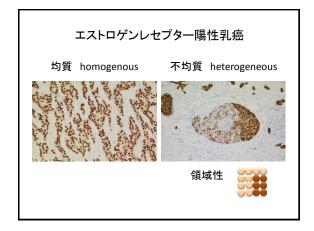


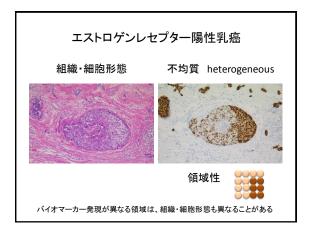
散在性 scattered/mosaic/mixed

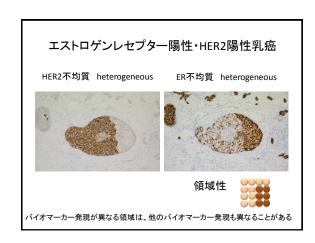
# 紡錘細胞癌 Spindle cell cancer

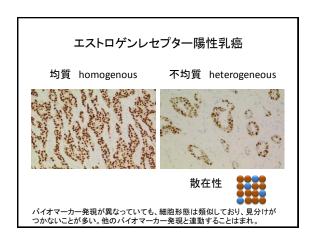
- ・ 化生癌の一種
- 腺癌成分と肉腫様に紡 錘細胞化生した成分が 混在
- ・ いわゆる癌肉腫
- 組織形態が不均質
- トリプルネガティブ乳癌
- 化学療法抵抗性
- 予後不良











# 腫瘍内不均質性を評価することの意義

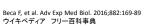
- 不均質であることから、分子生物学的な特徴や臨床 経過をある程度予測できる。
- 各成分に対して治療方法を選択し、組み合わせることで、治療効果の改善が期待される。

# **Rudolph Carl Virchow**

- ・ドイツ人医師 1821-1902
- 病理学者·先史学者·生物学者·政 治家
- ・ 1856年ベルリン大学病理学教授
- 細胞病理学・比較病理学・人類学の基礎を作った。

#### 空間的な腫瘍内不均質性

• 腫瘍内に異なる表現型を示す細胞 群があることを初めて指摘した。



#### 腫瘍内不均質性を評価することの意義

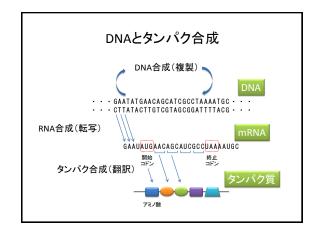
- 腫瘍の治療法が手術のみであった時代は、腫瘍内 不均質性を評価する意義は乏しかった。
- 手術に薬物療法を組み合わせて治療するようになった現在、腫瘍内不均質性を評価する意義は増加している。

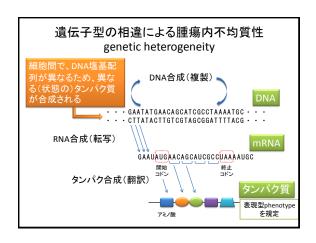
## 症例を用いて腫瘍内不均質性を考える

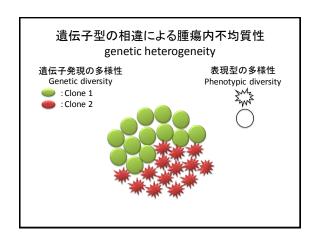
腫瘍内不均質性 左乳癌 T4bN1M0-IIIB 針生検 空間的 Luminal B HER2(-)タイプ+HER2タイプ 治療開始 CEFx2 PD 腫瘍内不均質性 wPTX+Tx11 PD 時間的 4m 手術 手術 トリプルネガティブタイプ ER(+)細胞あり。 遺残癌 ANA+3wT/PMRT 12m 再発 肝転移巣 Luminal HER2(-)タイプ ← EXE 3ヶ月 PD HAL 2ヶ月 PD GEM 2ヶ月 PD CAP 1コースのみ 21m 死亡 治療開始から21ヶ月/手術から17ヶ月/再発から9ヶ月

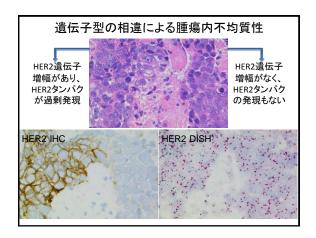
# 空間的な腫瘍内不均質性はどのように発生するのか?

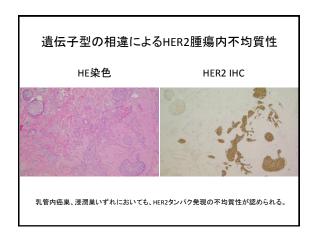
Martelotto LG, et al. Breast Cancer Research. 2014;16:R48 Kreso A, et al. Cell Stem Cell. 2014;14(3):275-91. Zardawas D, et al. Nat Rev Clin Oncol. 2015;12(7):381-94. Beca F, et al. Adv Exp Med Biol. 2016;882:169-89.

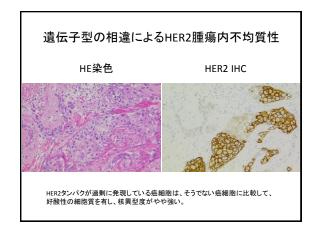


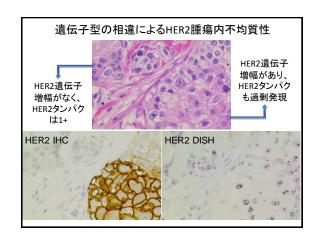












## 乳癌遺伝子発現

#### Bert Vogelstein

Vogelstein B, et al. Science. 2013;339:1546-58.

- 包括的な遺伝子配列解析の研究結果に基づくヒト 癌の遺伝子変異に関する総説
- ・ 乳癌は平均33の遺伝子体細胞変異を有している。
- 遺伝子体細胞変異

driver mutation: 細胞に選択的な異常増殖をもたらす driver gene: PIK3CA, ERBB2 (HER2遺伝子), etc passenger mutation: 細胞の異常増殖とは関連がない

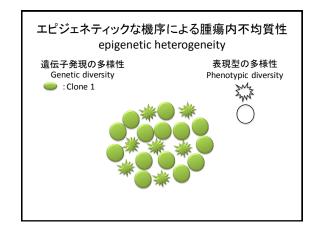
driver genelは12のシグナル伝達系を経由して機能している。

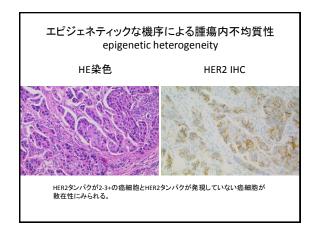
## 乳癌遺伝子発現の多様性

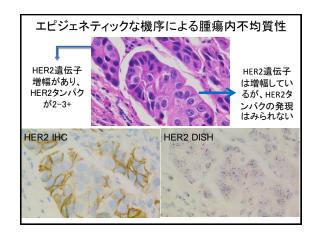
Bert Vogelstein

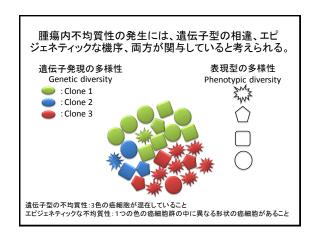
- Vogelstein B, et al. Science. 2013;339:1546-58.
- 全ての癌の遺伝子には不均質性が存在する。
- 1個の癌細胞が発生した時点では、その癌は単クローンである。しかし、癌細胞は分裂を繰り返す度に新たな遺伝子変異を獲得する。癌細胞は、たとえそれが同じ腫瘍のすぐ近くに存在していても、遺伝子の変異状況が異なる。

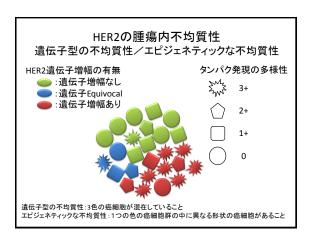
### 







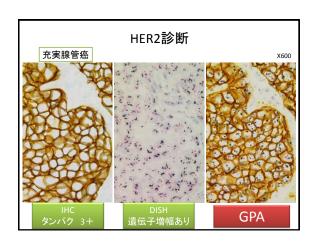


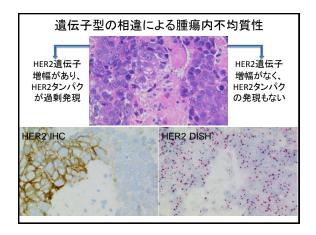


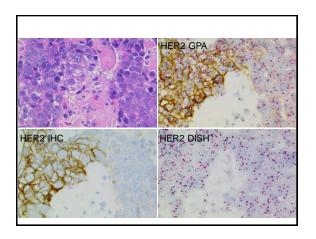
## Gene protein assay (GPA)

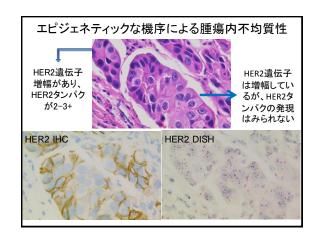
- 2012年 Nittaらが報告
- 一つの切片上で免疫組織化学法とDual in situ hybridization法を同時に行う新技術
- 個々の細胞におけるタンパク発現と遺伝子増幅の 有無を、光学顕微鏡下で、同時に観察できる。

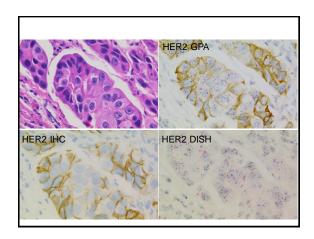
Nitta H, et al. Diagnostic Pathology. 2012; 7:60











# 乳癌におけるHER2不均質性の 臨床的意義に関する研究

• 臨床的意義

トラスツズマブを含む薬物療法の効果との関連予後との関連

- GPAを用いてHER2の不均質性を評価する。
- 対象

トラスツズマブを含む術前薬物療法が行われた HER2陽性乳癌